

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	交付対象事業の名称	所管課	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	事業費 （決算額）	交付金充当額	実施状況（実績）	事業の効果
合計						289,925	262,115		
1	令和5年度黒石市電力・ガス・食料品等価格高騰低所得世帯支援給付金支給事業【低所得者世帯給付金】	福祉総務課	①コロナ禍において電力、ガス、食料品等の価格高騰による低所得世帯への負担の軽減を図る。 ②低所得世帯への給付金 ③給付金総額 124,050千円 住民税均等割非課税世帯 4,105世帯×30千円=123,150千円 転入出の特例措置等世帯見込数 30世帯×30千円=900千円 事務費総額 4,467千円 ④R5年度分の住民税均等割非課税世帯	R5.8	R5.11	126,595	126,594	対象世帯4,327世帯のうち4,108世帯に給付した。	支給率が94.9%になり、物価高騰による家計の負担を軽減することができた。
2	価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業	企画課	①コロナ禍における物価高騰対策として、電気・ガス・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者に対し、「くろいし応援商品券」を発行することで、消費の下支え等の支援を行うとともに生活者負担の軽減を図る。 ②市内全世帯を対象に、1セット20,000円の商品券を10,000円で購入（1世帯につき1セットまで）できる引換券を郵送する。引換券の郵送料、商品券の発行・販売、参加店舗の調整、換金作業、プレミアム原資分等の事業の管理運営に対する委託料を主な経費とする。 ③価格高騰対策くろいし応援商品券事業 時間外勤務手当 280,680円 消耗品費 10,000円 通信運搬費 1,264,200円 広告料 132,000円 委託料 （事務費分）17,402,000円 （プレミアム原資分）126,000,000円（10,000円×14,000世帯×0.9） ④市民	R5.7	R6.2	136,697	127,775	想定13,966世帯に対し、11,829世帯が商品券を購入。（購入率85.1％） 商品券参加店舗は198店舗。 【効果額】 発行総額：236,580,000円	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者を支援するとともに、黒石市内における消費を喚起し、地域経済を下支えすることができた。 【効果額】 発行総額：236,580,000円
3	弘南鉄道運行継続支援事業	企画課	①新型コロナウイルス感染症等による昨今の電力・物価高騰の影響により、自助努力による運行継続がより一層厳しい状況となっている弘南鉄道株式会社に対して、運行維持を支援する。 ②R5旅客運輸収入の計画と見込みの乖離額（減収額）に、動力費の増加額を加えた総額の1/2相当を沿線市町村の利用者割合で按分した額。 ③沿線市町村支援額合計 28,400千円 28,400千円×0.233（按分割合）≒6,600千円 ④弘南鉄道株式会社	R5.12	R6.3	6,600	0 -	-	-
4	黒石市事業者物価等高騰対策事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症等による電気料金や燃油価格等の高騰の影響を受けている市内事業者に対し、当該経費の一部を補助することによって負担を軽減する。 ②経費として、申告している水道光熱費等の一部を補助するための経費及び事務を委託するための委託料。 ③黒石市事業者物価等高騰対策支援事業 時間外勤務手当 17,440円 消耗品費 10,000円 通信運搬費 75,600円 広告料 44,000円 委託料 990,000円 補助金 45,000,000円（1事業者5万円（上限）×1,000件） ④市内事業者	R5.7	R6.2	20,033	7,746	想定1,000件（事業者）に対し、487件（事業者）が申請し、交付決定件数474件。 交付額19,445,000円。 【効果額】 軽減額 19,445,000円 （1事業者上限50,000円）	電気料金や燃油価格等の高騰の影響を受けている市内事業者に対し、当該経費の一部を補助することによって負担を軽減することができた。 【効果額】 軽減額 19,445,000円 （1事業者上限50,000円）